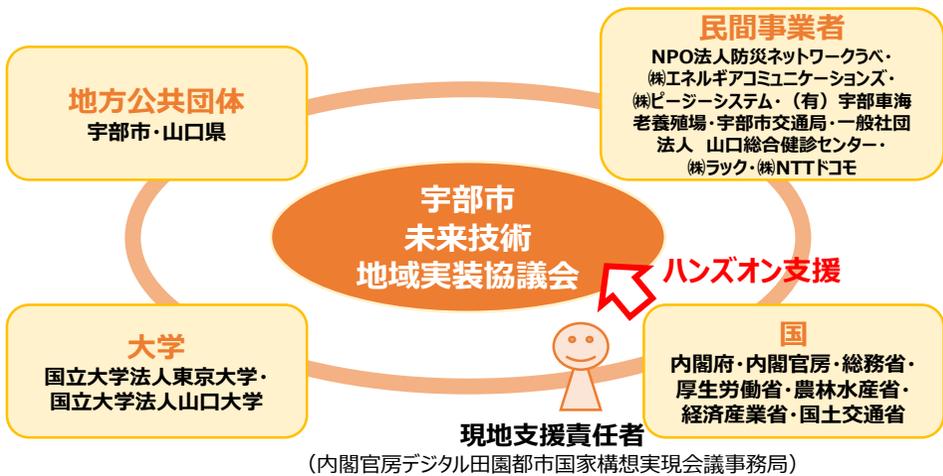


課題

- 防災に関する住民の**関心度の低さ**
- 大型店舗の相次ぐ撤退による**中心市街地の衰退**
- **魅力的な雇用が無いことによる若者の市外への流出**
- **公共交通網の縮小や運転手不足**
- 生活習慣病を要因とする**医療費・介護費の増加** など

推進体制



課題解決に向けた取組

- withコロナ時代における経済と安全の両立した持続可能なスマートシティの実現に向けて、未来技術を積極的に活用・導入することにより、地域経済にイノベーションを起こし、新産業や新たな雇用の「創出」へとつなげ、その先には新たな事業が連続して産まれる、スタートアップ・エコシステムの形成も目指す

防災意識を高めるスマート防災の推進

- ・避難勧告時の携帯位置情報を**AI**分析し効果的に活用
- ・自分事となる防災啓発効果の高い**VR/AR**教材を作成 など

アート×5Gデジタルコンテンツの作成・展示

- ・**5G**等を活用した**VR/AR**等での体験型展示を実現 など

AI活用型個人向けヘルスケアサービスの提供

- ・健診データのプラットフォームの基本仕様を検討し、一部構築に着手
- ・2つの**AI**解析システムを開発

車海老養殖技術のスマート化とブランド力向上

- ・環境センサーデータ等を分析し**AI**学習モデルにより高度な生産ノウハウを可視化

中心市街地でのAIオンデマンド公共交通の実装

- ・中心市街地で、**キャッシュレス決済**を導入した**AI**オンデマンドによるドアtoドアの移動手段を提供

2021年度の
主な取組

- 宇部市をPRするデジタル（VR）コンテンツを市民参加型により制作し、5G環境を活用した展示を実施
- デジタル人材の育成に向けて、JavaScriptプログラミング講座やM5Stackを使用したワークショップを開催
- 宇部車海老養殖場において、環境センサーやNWカメラによるデータ収集及び作業内容の記録を継続実施

取組内容

(写真：宇部市提供)

5G実証環境を活用したデジタル（VR）コンテンツの制作・展示（2021年11月～2022年3月）

- 宇部市をPRするVRコンテンツをドローンも活用して制作。撮影には市民・学生も参加して、その撮影手法を体験
- 制作したVRコンテンツは、5Gの特性である低遅延を活かした展示を実現するため、5Gクラウドに格納
- 5G環境の二つの周波数帯（Sub 6・ミリ波）を整備済で、宇部市の起業・創業支援施設である「うべ産業共創イノベーションセンター 志」（愛称：うべスタートアップ）においてVRコンテンツの展示を実施



ドローンによる撮影



市民・学生による撮影の様子

VRコンテンツの展示を行った
5G環境を整備済の起業・創業支援施設
「うべスタートアップ」

取組内容

(写真・図：宇部市提供)

スマート水産の実現に向けてセンサ類を設置 (2021年2月～3月)

- ▶スマート水産の実現に向けて宇部車海老養殖場に環境センサ等と屋外用ネットワークカメラを設置。個別の環境センサのデータは、LPWAにより情報を統合し、一括してクラウド上にアップロードするため、通信費を節減
- ▶並行してセンサデータ及び作業記録の管理システムを構築済。作業記録は、チャットボットにより簡単に導入できる仕組みを導入
- ▶今後はデータを蓄積し、相関分析を行うことで、AIを活用した最適モデルを構築予定

宇部車海老養殖場



環境センサ類
取得データ：水温、溶存酸素、
水質濁度、水質pH、塩分濃
度、気温、湿度、照度



気象センサ
取得データ：雨量、温度、湿
度、風向、照度、紫外線指数



ネットワークカメラ
AXIS M2025-LE
※赤外線撮影も可能



生産ノウハウ
生産者の作業記録



管理システム構築済
センサデータや作業記録を
可視化

次年度よりデータ蓄積を
開始予定

取組内容

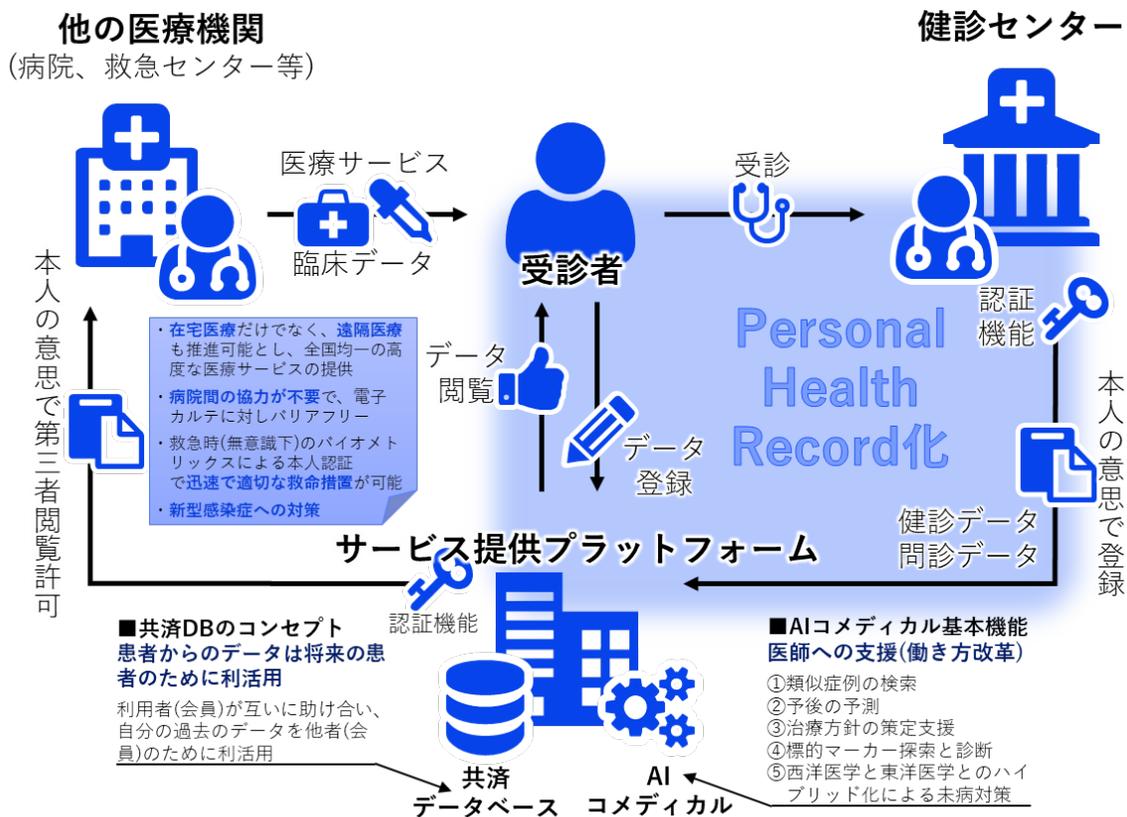
(図：宇部市提供)

AI活用型個人向けヘルスケアサービス 要件策定 (2021年1月26日～2022年1月25日)

- 山口大学・山口総合健診センター・(株)ラックの3者にて、サービスの要件策定を推進 (図は全体イメージ)
- 2021年3月に、共同研究の契約を締結
- 2022年7月以降の実証実験に向けた実現体制を整備
 - ・ 山口総合健診センターを実証実験場所としてデータ収集
 - ・ ヘルスケアに特化したプラットフォームの基本仕様を検討
 - ・ 2つのAI解析システムの基幹となるAIエンジン (予後予測機能と類似症例の検索機能) を開発

2022年度の予定

- ・ プラットホームの構築と評価、一部サービスの運用
- ・ 2つのAI解析システムの評価と改良



取組内容

(写真・図：宇部市提供)

グリーンスローモビリティの本格運行を開始 (2020年9月1日～)

- ▶ 令和元年度に国土交通省の事業により行った実証運行の結果を踏まえ、中心市街地の主要拠点をつなぐ小さな循環線として、バスロケーションシステムに対応したグリーンスローモビリティの無料運行を開始
- ▶ 市役所、病院、図書館、商業施設に加え、12月1日から交通結節点である宇部新川駅を乗車場所に追加し、利便性を向上



運行車両
ヤマハ発動機株式会社製「YG-ML」
乗車定員
6人

※運転席と助手席は乗車できないため、実質4人



現在の運行ルート

グリーンスローモビリティ
乗車場所

宇部新川駅

【運行日】
月曜日～金曜日(祝日除く)

【運行ルート・乗車場所・運行タイム】
中継駅は運行ルートのごとでも降車できますが、停車禁止場所を除く

運行ルート
乗車場所

運賃無料

【ポストビルド(まるき常盤通り店)→宇部新川駅】	
乗車場所	1便 2便 3便 4便
ポストビルド	10:00 11:30 13:30 15:00
トキスマ	10:03 11:33 13:33 15:03
市役所	10:06 11:36 13:36 15:06
尾中病院	10:10 11:40 13:40 15:10
図書館	10:15 11:45 13:45 15:15
宇部新川駅	10:30 12:00 14:00 15:30
【宇部新川駅→ポストビルド(まるき常盤通り店)】	
乗車場所	1便 2便 3便 4便
宇部新川駅	10:45 12:15 14:15 15:45
図書館	10:55 12:25 14:25 15:55
尾中病院	10:58 12:28 14:28 15:58
市役所	11:02 12:32 14:32 16:02
トキスマ	11:05 12:35 14:35 16:05
ポストビルド	11:15 12:45 14:45 16:15

<問い合わせ>
宇部市 共生社会ホストタウン推進グループ
TEL 0836-34-8831

乗車場所の看板

取組内容

(図：宇部市提供)

AI活用型個人向けヘルスケアサービス 要件策定 (2020年10月1日～2021年1月25日)

- 山口大学・山口総合健診センター・(株)ラックの3者にて、サービスの要件策定を推進 (図は全体イメージ)
- 2021年2月～3月にかけて、共同研究化に向けた締結の調整を推進
- 2021年10月以降の実証実験に向けた基本となるプラットフォームと、データ収集・分析機能の両面において、実現体制の整備を調整中
 - ・ 山口総合健診センターを実証実験場所としてデータ収集予定
 - ・ ヘルスケアに関連するサービスプラットフォームを複数評価
 - ・ 上記プラットフォームと接続する分析プラットフォームを独自構築

